

令和7年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	一般社団法人住民とともに活動する保健師の会	
実施事業名	高校生(不登校を含む)向けAIDS予防教育教材を使った普及啓発	
団体代表者	渡會 睦子	
事業の目的	ホームページ上に、こころ・からだ・性の発達段階に合わせた「人生を豊かに育むための教育教材」(HIV/エイズ・性感染症版)を作成し、生徒・教育関係者が学べるWeb教育環境システムを整備することを目的とした。本事業は、学校における性教育の停滞や、若者が正しい情報にアクセスしにくい現状を踏まえ、オンラインで安心して学べる教材を提供するための基盤整備を進めるものである。	
事業の達成度	本事業は、「こころ・からだ・性の発達段階に合わせた教育教材をオンラインで公開し、生徒・教育関係者が学べる環境を整える」という目的の達成に向けて着実に進捗している。不登校を含む多様な背景を持つ生徒がオンラインで安心して学べる教材の整備は急務であったが、これまでホームページを保有していなかった当会にとって、教材公開の基盤となるWeb教育システムの構築に着手できたことは大きな前進である。本助成により、教材公開に必要な基盤整備が進み、申請時に掲げた到達目標の1年目部分を概ね達成したと評価できる。 また既存教材である「思春期かるた」をWeb教材の一部として活用する準備も進めており、申請時に掲げた「ゲーム感覚で学べる教材の整備」という到達目標に向けた進捗が見られる。	
事業実績	対象となった人数(実数)	現時点ではホームページが制作段階であるため、教材の直接的な利用者数はまだ発生していない。ただし、制作過程において、以下の者が事業に関与している。 ・教材作成に関わるスタッフ:3名 ・制作会社担当者:5名 ・当会他事業に関わる若年層スタッフへのヒアリング協力者5名 合計:13名
	具体的な活動内容	本事業では、高校生(不登校を含む)および若年層(主として15~19歳)が安心して学べる教材をオンラインで提供するため、まず教材公開の基盤となるホームページの構築に着手した。対象者は、情報の多さや色彩によって心理的負担を感じやすい傾向があるため、アクセシビリティを最優先とし、以下の活動を実施した。 ・ホームページ制作に必要な要件(色合い、文字量、導線設計、アクセシビリティ)の整理 ・若年層向け啓発サイトの制作実績を持つ複数の制作会社への相談・見積取得 ・情報整理や視認性に優れた制作実績を持つ業者の選定 ・トップページおよび教材掲載ページの構成案の作成 ・教材掲載に向けた文章・図表の整理 ・不登校生徒や支援者が利用しやすい導線設計の検討 ・公開後の普及方法(SNS・学校関係者への案内)の検討開始 特に、対象者の特性に配慮したデザイン要件の検討と業者選定には慎重な判断が必要であり、検討には一定の時間を要したが、教材公開に向けた基盤整備が着実に進んでいる。 また、当会が別助成事業で制作した「思春期かるた」についても、本事業の教材の一部としてオンライン掲載する準備を進めている。「思春期かるた」は、思春期の心身や性に関する基礎的な知識をゲーム感覚で学べる教材であり、申請時に掲げた「若者が抵抗なく学べる教材の整備」という到達目標に合致するものである。今後は、Web教育システム上で閲覧・ダウンロードできる形式に整え、若者や支援者が活用しやすい形で公開する予定である。 一方で、教材の内容整理や掲載方法の最適化、公開後の普及方法の具体化など、今後の制作段階で検討すべき課題も残されている。特に、居場所のない若者が正しい情報にアクセスできず、繁華街等で危険な環境に巻き込まれることを防ぐためにも、信頼できる教材を行政、学校等の教育機関、支援団体等に広く周知することが重要である。今後は、関係機関への情報提供やSNSを活用した発信方法を具体化し、対象者の声も反映しながら、教材の認知向上と利用促進に取り組むと同時に中学生向けの教材も開発していく予定である。

活動の様子

※活動の様子、イベントまたは成果物などが分かる写真や説明書き、また団体ホームページ等のURLを掲載してください。

高校生向け教育コンテンツ、HIV/エイズ及び性感染症について高校生が自ら学び教育関係者は授業等で利用できる動画を作成(一部抜粋)

掲載予定のホームページ

思春期カルタをWEB上でゲーム感覚で楽しめるようなコンテンツの作成